



■ 成果指標

指標	単位	現状値		実績値				目標値	
				R4	R5	R6	R7		
1	リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議の会員数	会員	72	R2	72	74	75		80
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									

■ 市民アンケート調査

項目	現状値 [R2]	1次 [R5]	2次 [R6]	市民アンケートの考察
1 高速道路網が整備されている	重要度	1.05	1.11	鈴鹿亀山道路の事業化等により、高速道路網に対する市民の重要度が増加している。
	満足度	0.75	0.79	
2 リニア市内停車駅の誘致の機運が高まっている	重要度		0.47	一方、リニア県期成同盟会における本市内におけるリニア県内駅候補地の決定等により、リニア誘致が新たなステージに入ったものの、リニア駅誘致の機運の高まりに対する市民の重要度・満足度が低下しているため、一層、機運醸成を図るための取組が必要である。
	満足度		▲0.15	
3	重要度			
	満足度			
4	重要度			
	満足度			

■ 施策推進 [施策の方向]

施策の方向	施策推進に関する考察
① リニア中央新幹線市内停車駅の誘致の推進	三重県等関係団体と連携を図りながら、「リニア三重県駅」の誘致に向けたリニアフェアの開催など機運醸成のための活動が展開できた。また、リニア基金の計画的な積立てにより、駅周辺整備のための財源確保を図ることができた。
② 広域道路網の強化	建設促進期成同盟会を通じた熱心な要望活動により、鈴鹿亀山道路及び川崎庄内バイパスの事業推進が図られた。今後も関係機関との連携強化を図っていく必要がある。
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	

総合評価

リニア中央新幹線市内停車駅誘致の推進については、三重県等関係団体と連携しながら、早期全線開業と「リニア三重県駅」の誘致活動を展開する中で、県下初となる「リニアフェア」の市内開催をはじめ、リニア亀山市民会議においてNゲージリニアが走行するジオラマ「リニア駅誘致後の未来の亀山」を完成させ、その効果的活用や、夏休みリニア親子学習会等の開催を通じて、リニア世代の子どもたちを含む幅広い世代へのPR活動が展開できた。また、「リニア中央新幹線亀山駅整備基金」の計画的な積立てにより、令和6年度末の基金残高が積立目標額に近づく水準となり、リニア駅周辺整備に向けた財源確保も図れた。こうした中、「リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会」において、本市が県内駅候補地に決定され、加えて、建設主体が当該候補地内でのボーリング調査を実施し環境影響評価に着手したことから、総理大臣がその現地視察をされるなど、名古屋以西区間も着実に取り組みが進められているところである。しかしながら、市民アンケート調査結果では、リニア駅誘致の機運の高まりに対する市民の重要度・満足度が低いことから、リニア誘致が長期にわたる国家的プロジェクトではあるものの、更なる機運醸成を図っていくため、市民の関心度や期待等を高められる取り組みを積極的に実施していく必要がある。一方、広域道路網の強化については、鈴鹿亀山道路の早期整備に向け、関係する地域との合意形成や道路設計等が進められるなど、県と連携した取り組みを促進した。また、当該路線の早期整備と関連する国道306号川崎庄内バイパスの事業推進については、建設促進期成同盟会と連携し、国等へ要望を行ったほか、国道1号関バイパス等の道路ネットワーク整備についても、国・県と事業調整を行うとともに、国等に対し早期着手に向け要望を行った。今後も引き続き、広域道路網の実現に向け、関係機関と連携し取り組みを進める必要がある。

**B**

まずは進んだ

今後の展開方針

リニア誘致は、最速2037年の全線開業を目指す長期的な国家的プロジェクトであることを踏まえた上で、先行区間の建設動向や開業時期等を注視するとともに、名古屋以西の概略ルート・概略駅位置の公表時期等を見据えながら、市民の盛り上がりが続けられるよう、リニア亀山市民会議の裾野拡大をはじめ、市民の関心度や期待が高まる取り組みを積極的に展開していく。また、名古屋以西の駅位置の公表時期を見据えながら、リニア基金の積立て目標額の見直しを検討していくほか、三重県が策定を進める「三重県リニア戦略プラン」の検討へ参画し、リニア駅を生かしたまちづくりの方向性について検討を深めていく。一方、広域交通網の強化については、引き続き、新名神高速道路の三重県内区間の6車線化をはじめ、鈴鹿亀山道路と国道306号川崎庄内バイパスの早期整備とインターチェンジの設置、さらには、国道1号関バイパスの事業化区間の早期建設と全区間の事業化について、国・県に要望活動を行い、その実現を目指していく。